

L R Tデザインの検討状況について

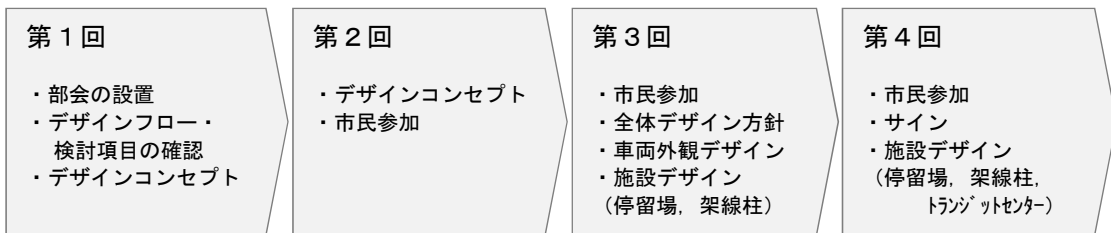
1 L R Tデザインの検討について

L R Tデザイン部会において、車両や施設を統一感のあるデザインとすることにより、明示性や魅力を高める「トータルデザイン」の検討を行っているところであり、今年度のL R Tデザインに関する検討状況について報告するもの。

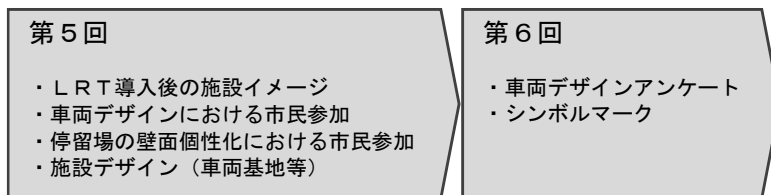
2 検討状況について

今年度は、平成28年度に設定したデザインコンセプトや各要素別の基本方針を踏まえ、各種施設の詳細デザインや市民参加の方法について検討を進めてきたところであり、デザイン部会においては、停留場の壁面個性化に関する市民参加の方法や車両デザインアンケートの企画内容などについて、検討を深めてきたところである。(別紙参照)

【平成28年度】



【平成29年度】



3 今後の取組について

車両については、「車両デザインアンケート」の実施に向け、車両設計事業者と調整を図りながら、芳賀・宇都宮にふさわしい車両デザイン案を作成し、アンケートの実施内容を固めていく。

また、「シンボルマーク」や「停留場の個性化に関するガイドライン」などを作成するとともに、効果的に市民参加を進めていくための方法について、引き続き検討を進めていく。

LRTデザイン部会の検討内容について

1 トータルデザインコンセプト (デザインの基本的な考え方、基準)

らいと みらい

雷都を未来へ

LRTによる未来のモビリティ都市の創造

芳賀・宇都宮は、豊かな風土を礎に交通の要衝として発展してきました。
日光連山と関東平野の境界という立地と、まちを南北に流れる川や用水は、台地と低地が織りなす地形をつくり、土地を肥沃にし、物流や産業を支えてきたのです。

この風土を象徴するのが、夏の日、夕立を知らせる「雷」です。
「雷」とともに降る雨は、河川を豊かにし、「雷」は稲の実りをもたらす「恵みの象徴」として、人々は「雷」を崇拝し、「雷様」と呼ぶようになりました。
古来、「雷」がこの地に恵みを与えてきたように、
LRTは、人々に利便性や快適性、そして交流、地域に活力や豊かさという恵みを与える役割を担います。
私たちは、このような意志と願いを込めて、雷の都、「雷都」を未来へ繋げます。

2 デザインへの展開

【考え方】
デザインの展開については、デザインの対象物の位置づけに応じて、それぞれに込めるメッセージや主張の度合いに差を設け、全体としてデザインコンセプトを利用者に明快に伝えることができる表現方法を設定する。

【デザインコンセプトの直接的表現】
シンボリックな存在となる車両、事業VI (シンボルマークなど)、サインなど
(コンセプトを保ちつつ、地域固有の個性の取り込み)
地域に根付いて存在する停留場やトランジットセンターといった施設

【デザインモチーフ】

具体的表現 抽象的表現

【カラー】
シンボルカラーは、明示性が高く、雷 (稲光) や雷を受け豊穡した稲をイメージさせる「黄色」を用いることとする。
サブカラーは、シンボルカラーを引き立てる色彩として、黒から白までの無彩色を用いることとする。

C:0
M:30
Y:100
K:0
シンボルカラー

3 要素別デザイン方針と取組状況

	各種施設				
車両	停留場、架線柱	車両基地	トランジットセンター	シンボルマーク	
<p>芳賀・宇都宮の顔となり、「雷都を未来へ」を具現化するデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> まちの顔となる 『独自性』 地域固有の風土を感じる 『雷の光』 将来イメージを牽引する 『先進性』 	<p>沿線の歴史と風土を未来へ継承し、沿線住民に愛され、支えられるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性、バリアフリー、経済性、維持管理を考慮 車両を引き立てる シンプルなデザイン 地域の風土を象徴する 大谷石を活用 	<p>働く人の誇りとなる、見て楽しいLRTのショールームとなるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両デザインと関連性を持たせた外観 植栽等による潤いと活力のある風景の創出 見学者ルートの確保 	<p>風土を活かす景観を形成し、沿線住民の誇りとなるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 風土を活かした魅力的な空間創出 利活用可能なオープンスペース 地域のシンボルとなる施設 	<p>芳賀・宇都宮LRTの価値や存在を効果的に伝えるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 一目で芳賀・宇都宮LRTと分かる個性的で明快なデザイン 公共交通としての信頼性・安全性を感じさせるデザイン マイルールとしての誇りや愛着を醸成できるデザイン 	

【市民参加】
以下の基本方針に基づき、「車両デザインアンケート」を実施する。

- LRTへの関心を広げる
- まちの顔をともにつくる

車両は、車両設計事業者と調整を図りながら、芳賀・宇都宮にふさわしい車両デザイン案を作成し、市民・町民等を対象とする「車両デザインアンケート」を実施した上で、デザインを決定する。

停留場等の各種施設について、詳細デザインを実施。

LRT導入後の施設イメージについては、VR (ヴァーチャルリアリティ) で視覚化したものを作成。

案内表示、広告・個性化スペース等を確保するガラス面

地場産材(大谷石)の活用

シンボルとなる車両を引き立てるシンプルなデザイン

施設デザインを反映した停留場

【市民参加】 以下の基本方針に基づき、沿線住民とともに停留場の壁面の一部を個性化する。

- 歴史と風土の未来への継承
- 「私たちの駅」という意識の醸成

停留場の壁面個性化の事例

点灯設備(LED照明)

テーバー形状の鋼管柱

施設デザインを反映した架線柱 (鬼怒通り等)

デザイン部会では、引き続き、個性化に関するガイドラインの作成や、実施内容の検討を進める。